

平成24年度事業計画

(自 平成24年4月1日 ～ 至 平成25年3月31日)

社団法人 大阪南太平洋協会

1. インターネットホームページ更新・・・補助金申請予定 9月

・ASPA活動のネットワーク作り及び広報活動充実

～フェアトレードコーナー及びKyurekist goods等の自然暮らし紹介

http://aspa-osaka.com E-mail:info@aspa-osaka.com

2. 調査・研究活動、交流、企画行事

①国際交流(協力)事業

1) 南太平洋地域における環境保全調査・研究活動

①外務省無償資金協力事業申請予定；衛生環境改善事業(マーシャルアンノ環礁)第1段階

2) 留学生支援他～南太平洋の人々とのふれあい

・在日留学生との交流；ソロモン他

・在日又は来日する太平洋島嶼国の人々との文化交流

*4月18日(東京)アジア・太平洋チャリティーバザー 参加 5名

福引券販売 60枚

②自立支援ボランティア事業

1) 太平洋島サミット記念事業・記念講演会開催・・・5/19

「星砂でツバルを海面上昇から救え」講師：茅根 創氏(東京大学大学院教授)

2) 炭プロジェクト指導者養成(益田市)・・・7月

3) 第11回PNGソワム村支援活動・・・9～10月

*軽医療奉仕&製材機製作及び建設指導；グリーン家電及び住宅エコポイント環境寄附金事業

～小規模クリーンエネルギー供給装置援助及びエコ住宅建設指導事業(若者育成)～

*ASPAソワム村起業開発組合運営指導

③日本文化の見直し事業

1) 2013年「ASPA自然暦(Nature Calendar)」旧暦の発行及び普及

平成24年11月1日 7000部発行予定 デザイン更新

～大手販売協力店及び団体；八重洲ブックセンター、東急ハンズ、紀伊国屋書店、啓文社(広島)、

盛文堂(広島・加計)、農文協センター等

～全国販売協力ネットワーク網作り

*テレビ/新聞、講演会を通じたの広報活動

・中牧弘充民博教授：「日本カレンダー暦文化振興協会」

・松村理事長(旧暦・ASPA活動)：織研新聞投稿'13.1月、雑誌「サライ」9月

講演会：滋賀、広島、大阪、福井、東京他

参考図書：「旧暦はくらしの羅針盤」13版、「アジア遊学」(勉誠出版)

「旧暦と暮らし～スローライフの知恵ごよみ」「続々と旧暦と暮らし」

2) 旧暦勉強会 広島 大阪 福岡 東京 福井他

*若手旧暦研究会：大阪 3名

*特別協働企画「(仮)旧暦とは・・・」シンポジウム

④アウトドアスポーツ事業

1) 自然とのふれあいセミナー；安芸太田町 5/4～6 参加4名

*第20回広島県太田川カヌー川下り～カヌー教室 悪天候でキャンセル

*益田市匹見町所有地視察及び山本粉炭工業表敬訪問（炭化平炉見学）

⑤市民の意識啓発と参加促進事業

1) ワンワールドフェスティバル・・・・・・・・・・・・・・・・・・2013年 2月

太平洋島嶼国及びASPA活動の紹介,旧暦カレンダー及び本、民芸品展示即売
特別企画イベント「手作り民芸品教室」等

2) 国立民族学博物館教授との情報交換・・・・・・・・・・民博公開講演会、夏至の会等

3) ASPA 海外支援活動報告会・・・・・・・・・・・・・・・・・・随時

3. 支援（後援）活動

①第6回太平洋・島サミット記念事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・5月

②在日留学生他の支援；都市と田舎の交流及び文化交流指導・・・・・・・・・・5月～

③南太平洋の島々（パプアニューギニア）へ医薬品及び衣料品送付援助

④NPO 法人ジャパンデンタルミッション後援

⑤高校生国際交流ボランティア団体 WITH 後援

～ワンフェスプログラム及び国際協力講座等～

⑥日本学生会議所・太平洋諸島学生会議後援

⑦太平洋諸島センター及び太平洋島嶼国研究所との情報交換～Pacific Islands Club

⑧世界平和女性連合大阪第1 連合

⑨東日本被災地支援～旧暦愛用者エールキャンペーン

4. 会員相互の情報交換・交流のための各種行事の開催

①五節供、春節祭&懇親会

②各種団体及び企業・グループ等の情報交換

旧暦：環境保全：国際協力：官庁関係→平成23年度記載団体+α

5. 各種会議の開催

*定期総会 H24年 5月19日（土）ドーンセンター

*理事会・評議員会 随時

6. 会員組織

*一般社団法人移行申請へ向けて会員拡充及ネットワーク強化する

7. 組織基盤の強化

*一般社団法人移行申請

*人材育成・・・インターン補助金申請及びインターン生募集

8. その他

*土地の寄附：熊本県天草市 24,000坪 4月

ASPA

～助けられる側から助ける側へ～

非常時を乗り越える知恵
自然災害や天変地異、不測の事態に活かす
「炭プロジェクト」へのお誘いー炭は自作型備蓄燃料ですー

山柱ブル式炭化炉による資源リサイクル

1. 樹木、ヤシガラ、草、資源廃材などを炭化炉の燃料として活用
2. 炭化炉からの副産物が木炭（炭スチール）
3. 炭化炉からの副産物が木炭（炭スチール）
4. 炭化炉からの副産物が木炭（炭スチール）
5. 炭化炉からの副産物が木炭（炭スチール）
6. 炭化炉からの副産物が木炭（炭スチール）
7. 炭化炉からの副産物が木炭（炭スチール）
8. 炭化炉からの副産物が木炭（炭スチール）

炭化炉の仕組みと炭化炉の構造、炭化炉の構造、炭化炉の構造の図解が示されています。

2011年
(社)大阪南太平洋協会
大阪府北区豊崎3-9-3001
TEL:06-6356-1161 FAX:06-6371-9337

ASPA

＜(社)大阪南太平洋協会 炭プロジェクトのプロジェクト＞
新しい生き方を求める方、参加しませんか？
「炭づくりー農業ーものづくりの仲間を募集します」

1. なぜ炭づくり？
3月11日、東日本大震災。木材資源の山を燃料に燃やしていたら、どれだけ多くの人が殺戮されたか。震災の被害は、震災の文化があつたではないですか？ 炭も安全な燃料ですか？ 炭化炉中毒？ 炭化炉中毒から守るには？ 炭も安全な燃料ですか？ 炭化炉中毒から守るには？ 炭も安全な燃料ですか？ 炭化炉中毒から守るには？
2. 実施概要
① 豊後国田川郡田川町にASPA（大阪南太平洋協会）が所有する5000坪の土地に、一度に10トンの炭が焼ける炉を、会長・山本昭徳氏の指導で作ります。そこに炭化炉用の実験設備を併設し、自作炉口を自ら建築して自給自足レベルの炭を焼きます。
② 約3ヶ月を単位として、農業・大工仕事・炭焼の実践・研修を行います。太平洋諸国からの研修生（年2、3名）と共に国内希望者も参加できます。
③ 炭化炉や理療院全開の炉の活用を体験して、それを世に広め、災害時に備えます。また海外研修生の存在をアピールするため、研修生自らが炭づくりの動画を撮影し、ブログなどで発信します。
3. 出費について
① 出費負担者は大阪南太平洋協会会員とし、1000人限定とします。（真正会員・賛助会員・旧籍友の会会員および新会員）
② 一回1万円、購入10万円までとします。出費は原則として1回限りです。なお、原則として、700人の賛助者を目標とし、出費の請求をさせていただきます。事業開始といたします。協会の早期のご賛同をお待ちいたしております。
③ 出費者になるには、入会金2000円と年会費3000円を支払って大阪南太平洋協会の賛助会員とすることが条件となります。
④ 1年で退会することもできます（退会の場合、返金はできません）
⑤ 事業を継続支援する議決権のある正会員は、2年以内からの希望者となります。
～南太平洋諸国の人々を誘って、またたく間に環境共生社会での表・裏・仕に関する自給自足の実践仲間になりませんか～

4. 出費者の特権
 - ① 1年後に非常時の備蓄燃料として、出費金一口につき炭20kgを無料
 - ② 災害時にも役立つ、協会発行の「避難カレンダー」を年1回1冊送呈
 - ③ 協会の各種行事に参加できます（ものづくりや畑仕事、アウトドアスポーツなど）
 - ④ 年1回の海外活動への参加権があります
ことにより以下の方は参加費補助の特典があります
 - ⑤ 各地でのサバイバルセミナー、防災勉強会に参加できます

5. (社)大阪南太平洋協会について
(社)大阪南太平洋協会は1981年(昭和56)設立のNGO団体です。
太平洋諸国の人々とお互いの文化を認め合い、ここに自然との共生に関する知識・協力は日本人が学ぶべき部分の多いことを基本認識としています。
在日留學生の親世代が、現地での子供や自立支援活動を通じて、2011年。
★主な活動実績は協会ホームページをご覧ください。http://aspa-npa.co.jp/

★参考書
①『炭を結び直す』 佐藤 隆 著 ビジネス社刊
②『旧態と新らずースローライフの知恵ごよみー 松村 隆 著 文芸春秋
③『南の島の日本人』 小林 繁 著 産経出版
④『ニンジンから芋田へ』 赤野 勝人 著 ちすなワールド

★お電話
06-6356-1161

申込書

(社)大阪南太平洋協会会員として炭づくりプロジェクトに参加します

氏名				性別	男・女
住所				職業	農林漁業・商売
生年月日	年 月 日	連絡先	電話		
申込回数	回	入会金・年会費	納付書		

ご署名・ご捺印